

# 説明不足のまま乗務員が車いす対応!?

## 国労ちば

国鉄労働組合  
千葉地方本部  
発責 加藤 晃一  
編集 高橋 弘幸  
【電話】  
JR 2930 FAX 2934  
NTT 043(238)5963  
FAX 043(238)5967

国労は、  
踏み出す勇氣！  
あなたの決意を  
待っている

### 社員任せの施策はやめろ

JR千葉支社は5月19日「すべてのお客さまに安心して快適にご利用いただける鉄道を目指すと共に、共生社会の実現に向けた取組みを進めています」と銘打ち、千葉支社管内各路線の対象駅において、乗務員（運転士または車掌）による車いすの乗降の手伝いをするとプレス発表した。

6月1日より、駅係員無配置駅または一部時間帯に駅係員が不在となる駅の一部対象駅において駅係員に代わり乗務員が携帯スロープを用いて列車乗降の手伝いをするという内容である。

実施なのだろう。利用する場合は、ホーム上で乗務員から見えない位置で待つようになっていくが、ワンマン運転の最後部位置や、8両編成の中ほどで待っていた場合にはどうするのかなど、疑問が多すぎる。逆に一徹体制の駅の不在時間は何故対象にならないのかという声も出ている。



5月19日付、JR千葉支社発表資料より

当該となる乗務員職場では一斉に訓練が実施されたが、説明は職場によって違うことが判明した。

**S** 職場などは、細かい説明はほとんどなかったという。

**A** 職場からの情報では、スロープ板は駅によって大きさや重さが異なり、段差の大きい駅では角度を緩やかにするためスロープ板はかなりの長さになり、重さも18kgを越えるため、女性乗務員には無理という声があった。

また、乗車対応では、乗せる前に降車駅を確認し、降車駅が今回の対象駅から外れている場合は最初から乗せないなど、乗務員は常に乗車駅と降車駅の設備等も頭に入れておかなければならないことになる。

**S** 職場の訓練ではこれらについての説明は全くされなかったという。

当該利用者が乗車する際、こうした降車駅の確認や希望の乗車車両への移動などの対応をすると5分〜10分かかるとも想定される。会社は何分遅れてもかまわないと言

うが、現行2分〜3分で乗り換える運行ダイヤの中で他の利用者から苦情が出るのは必至である。各駅での乗り換え列車の対応や車内放送に関しても、想定される場面に於いて会社は一切説明していない。現場で乗務員にその場しのぎの対応をさせようというのだろうか。無責任にもほどがある。

**職場ごとの説明**

この数年来、会社は様々な施策を組合提案なしでいきなり現場に落としてきたが、どれひとつ取っても細かい対応方などは決めておらず、その都度、社員任せの対応になり「絵に描いた餅」という言葉が社員から出されている。今回も然りである。

会社は、この施策を実施するには様々な場面を想定して、詳細なマニュアルを示すべきである。「絵に描いた餅」はいらない。

### 絵に描いた餅はいらない

駅員が減らされ無人駅の増加、ワンマン運転車両の導入など、この間、乗務員への負担が増加している中で、異常時でも十分な対応が出来るか、乗務員のみならず、利用者も不安はあるだろう。

### 全国版

今年の夏 季手当の交渉が始まった。新型コロナウィルス感染症が発生してから3年が経過し、完全に収まったわけではないがようやく落ち着いてきた感がある。鉄道利用者もコロナの拡大前に戻りつつあるが、ロシアによるウクライナ侵攻などにより生活に直結する様々なものが高騰し、今月から電気料金も値上げするなど国民の生活を圧迫している。◆2023春闘では賃上げはあったものの、新型コロナウィルス感染症が拡大してからは収益減少を理由とした定期昇給の半減、夏季・年末手当の削減などで苦しい生活を強いられる。3月期決算でJR東日本は3期ぶりの黒字決算となった。これはコロナ禍を理由にコストカットを押し進め、コロナ禍でも感染のリスクと向き合い、今まで以上の業務を押し付けられている社員の努力でもある。◆社員のモチベーションを保つためにも会社の将来に繋がる判断をしてほしいものだ。(智)

# 乗務分会打ち合わせ会議

7月の新年度での運輸区統合分会の立ち上げに向けて、2回目の会議が、5月23日、地本会議室にて行なわれた。

蘇我運輸区分会長の竜崎さんが議事を進め、1回目の会議での決定事項を確認し、今後の検討事項について話し合った。

前回もれていた統合対象分会の追加、新執行体制、各班長、結成大会、分会規約案の作成、財政関係について等々の意見を出し合った。

資料として現在の各分会の組織人員数やあくまで仮定ではあるが23年度の新分会予算案も示された。

現各分会での財政の処理、新分会への引継ぎが確認された。

「7月以降も班としての活動が言われているようだが、何をしていくにも基本は分会として考えていくべきではないか」といった意見も出された。

結成大会前に規約等々の詳細を最終的に確認し合うことを確認し閉会した。

# 平和憲法を守る



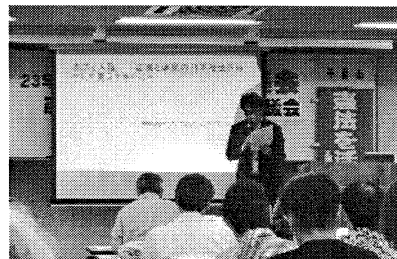
## 2023憲法大集会

5月3日、東京都江東区の有明防災公園にて「あらたな戦前にさせない！守ろう平和といのちとくらし」をメインスローガンとした「2023憲法大集会」が2万5千人の参加者で開催された。

集会は、フェミニスト（女性の権利や男女の平等を目指す考えを主張する人）でコメディアンのおきおさんの司会が始まった。

5・3憲法集会実行委員会を代表して高田健さんが開会あいさつをし、続いて各界からあいさつ・スピーチがされた。

その後のリレートークでは、①入管法問題、②馬毛島の軍事基地問題、③性差別問題について発言があった。



## 5・6 千葉県憲法集会

5月6日、千葉県教育会館において、憲法を活かす会千葉県協議会が主催し、憲法を変えさせない市民の集い「5・6千葉県憲法集会」が開催された。

開会あいさつの後、主催者より代表あいさつがあった。

その後、ジャーナリストの安田浩一氏を講師に迎え「憲法と人権問題」―差別だらけの日本―と題して講演を受けた。

改憲の動きが活発になりつつある中、「平和憲法を守れ」と運動している私たちにどうしては歯切れがよく分かりやすい講演であった。

集会後は強風の中、千葉市内を声高らかにパレードを実施した。

## 運営体制の見直し

5月25日、JR千葉支社より「みどりの窓口」閉鎖と営業時間の見直しの提案を受けた。主な内容としては、

- ◎「みどりの窓口」の閉鎖
- ◇8月1日 鎌取駅・浜金谷駅
- ◇8月25日 茂原統括センター（茂原駅）、
- ◇9月1日 成田統括センター（佐原駅）・旭駅

◎「話せる券売機」の設置

- ◇茂原駅・佐原駅

「話せる券売機」は「みどりの窓口」の代わりにはなり切れず、結局は人のいる「みどりの窓口」に行かざるを得ないことが多い。

茂原駅を例にとると、その最寄り駅は大原駅か蘇我駅という事になる。

とてもじゃないがお近くの「みどりの窓口」と案内しづらい。

5月25日現在でJR千葉支社の「みどりの窓口」設置駅は23駅だが、更にその数は減少する。

## 2023年度大会大日程

公示日 2023年 6月3日（土）  
 立候補締切日 6月7日（水）  
 不在者投票 6月11日（日）～13（火）  
 投票日 6月14日（水）

### ※ 代議員定数の変更について

今回の選挙より千葉・水戸・新潟・高崎・長野の5地本で1選挙区となる。（東日本本部選挙公報第1号参照）

- ◇全国大会 4名 単記制（候補者1名を記入）
- ◇東日本大会 6名 2名連記（候補者2名を記入）

## 不安だらけの「車いす」対応

本号1面でも記載しているが、6月1日より、乗務員による一部駅での車いす対応が実施される。

この施策により、乗務員だけでなく、駅社員の対応も変更となる。

これまで無人駅で降車する車いす利用者が来られると、無人駅を管理する駅へ連絡し、どの列車での対応が可能か打ち合わせし利用者等を案内するが、今後は管理駅が対応できない場合でも、列車に乗ってもらい、乗務員への受付票を記入し指令を

介して乗務員に対応を依頼する。

東京方面から千葉以東への直通列車に乗車する場合は、今までは乗車駅から乗換駅や無人駅の管理駅に連絡し対応してきたが、今後は、車いすの利用者は千葉駅か蘇我駅にて一旦降車し、更なる案内を受けなくてはならなくなり、到着時間が大幅に遅れてしまう事象が発生する。

今まで以上に社員や車いす利用者への負担や影響が大きくなる。

